

桜谷小学校 感染症予防ガイドライン R2.8.24 改訂版

可能な限り感染リスクを減らすため、「命を守る3つの合言葉」に気をつけ、安心・安全に努めます。
一部改訂しました（改訂した箇所と特に大事な箇所に下線を引いています）ご協力をお願いします。

熱中症を予防するために

1. マスクの着用について

- ① 徒歩での登下校時・体育の授業と、昼休みなどに激しい運動をするとき
 - ・ 熱中症のリスクが高いときはマスクをはずす。希望する児童はつけてもよい。
 - ・ バス利用時は必ずマスクをつける。
- ② マスクをはずしたときの注意
 - ・ 登下校のときは間隔を十分に取る（1m以上）。
 - ・ 近い距離での会話、向き合っでの会話をしない。
- ③ 周りに人がいないときは、マスクをしなくてよい。
- ④ 徒歩での登下校時に日傘を使用してもよい（雨傘でも可）

がっこうの けいり や たいいく の じかん など、
暑いときやムシムシするときはマスクをはずしましょう。
◇ マスクなしで話をするときは間を2m開けよう。
◇ 近い距離で向き合っておしゃべりしません。
◇ ふだんはマスクをつけましょう。



じゆうけん じゆうけん
十分な距離がとれないときは
マスクをつけるか、おしゃべりを
ひかえるようにしましょう。

まだまだ感染予防が必要です。
基本的には、常時マスクを着用しましょう

2. 登下校時のネッククーラー等の使用について

熱中症が心配されるとき、登下校時に、ネッククーラーや保冷剤入りタオルなどを使用しても構いません。
徒歩で下校する人など帰りも保冷剤が必要な場合は、学校の冷凍庫で保冷剤を冷やすようにします。

◇ 徒歩で下校する人など帰りも保冷剤が必要な場合は



登校したら、保冷剤をチャック式ビニール袋に入れ、職員室に持ってきましょう。
帰りに職員室に取りに来ましょう。
※ 名前を忘れずに！

3. 多めにお茶を持たせてください

お茶がなくなった子どもの水筒に、日野町教育委員会の方からいただいた水を補充します。運動会の練習を始まりますので、こまめに水分補給できるよう、多めに持たせていただきますよう、ご協力をよろしくお願い致します。なお授業中も水分補給をしてもよいことにします。

4. 体調管理をお願いします

十分に睡眠を取り、きちんと朝ご飯を食べることは、感染症予防のためにも熱中症予防のためにも有効です。
運動会までの期間は、ご家庭での体調管理を特にお願いします。

学校でも、特に熱中症のリスクが高い日や夏休み明けの体が慣れていない時期には、無理のない活動を心掛けます。また、朝の健康観察を丁寧におこなうとともに、昼に全員の検温をおこないます。

感染防止のための毎日の持ち物

- ・ 健康観察表（水色の紙）
- ・ 清潔なハンカチ・タオル
- ・ ティッシュ
- ・ マスク
- ・ 水とう
- ・ マスクをはずしたときに入れる清潔なビニール袋や布袋
- ・ 三角巾（給食用）
- ・ エプロン（給食当番のとき）



登校前の体調チェック

1つでも当てはまる場合は欠席を

- 平熱を超える発熱
- せきやのどの痛みなどの風邪の症状
- だるさや息苦しさ
- 臭覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすいなど



「慣れ」が「ゆるみ」や「油断」につながる
ことが心配されます。

ご家庭では 次のことに引き続き、ご協力
をお願いします。

○感染源を絶つために

- ・毎日、夜と朝の検温をおこない、朝は「登校前の体調チェック」をもとに丁寧に体調を観察してください。
「健康観察票」は保護者にご記入ください。

- ・発熱等の風邪の症状がみられる場合は、登校を見合わせ自宅で休養してください。

○感染経路を絶つために

- ・家庭でも、「手洗い・マスク・3密防止」が必要であることなど、改めて、お子さんにお話してください。
- ・髪の毛にしょっちゅう手が触れることを防ぐためにも、髪の毛の長いお子さんは、髪を結んであげてください。
また、洗っていない手で目や鼻を触ったり、爪をかんだりすることがないように、家でもお声がけください。

○抵抗力を高めるために

- ・免疫力を高めるためにも規則正しい生活を心掛けてください。
十分に睡眠を取り、きちんと朝ご飯を食べさせてください。

学校では

○感染症教育の実施

- ・子どもが自分で考えて予防できるように、学年に応じて感染が起りやすい環境や感染防止の方法について指導します。
- ・児童会委員会活動などの子どもの力も借りながら、子ども同士で声を掛け合って感染防止の行動が取れるように働きかけていきます。

○感染防止の取組

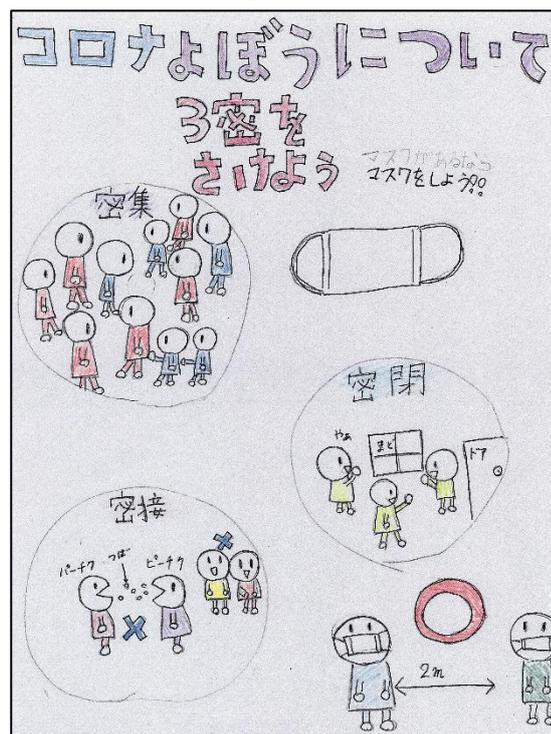
- ・登校後や給食前、外から帰ったとき、体育の授業後、共有の学習用品を使った後、掃除後など、手洗いを徹底します。
- ・給食準備のときに教職員が配膳台を消毒します。児童の手洗いと三角巾とマスク、給食当番のエプロンの着用を徹底し、給食当番の児童が当番が可能かどうかの点検をおこないます。
- ・食事のときに机を向かい合わせにしないようにし、おしゃべりを控えるようにします。
- ・机の間隔を広げ、感染予防に努めながら授業をおこないます。
- ・こまめに窓を開け、換気扇も利用しながら、教室内の換気を行います（エアコン使用時も）。
- ・休み時間の3密防止やマスクを外したときの行動について、注意を呼びかけます。
- ・放課後、職員が、児童の机や水道の蛇口、トイレの取っ手やレバー、照明スイッチ等の、手でよく触れるところや子どもたちが共有するものの消毒を行います。

○感染症への理解

- ・今後、気をつけていても誰もが感染する可能性があります。新型コロナウイルス感染症に関して 発症者や濃厚接触者、医療従事者等への差別や偏見、いじめにつながらないよう人権教育を行います。

安心・安全な行事の実施に向けて

思い出に残る行事の実施に向けて、「安心・安全」を一番に考えて計画を進めていきます。「学校の新しい生活様式」に加えて、「桜谷ならではの+α（プラスアルファ）の取組」を検討します。「+α」というのは、例えば、本校の規模だとできないことはないので、運動会の児童用テント数を余裕をもって6張（1張あたり16人）にするとといったことです。いろいろな行事で例年はないお願いをすることになると思いますが、まずは何とか実施できる方法を考えてと思います。ご理解・ご協力をお願いします。



予防を呼びかける5年生成成のポスター